

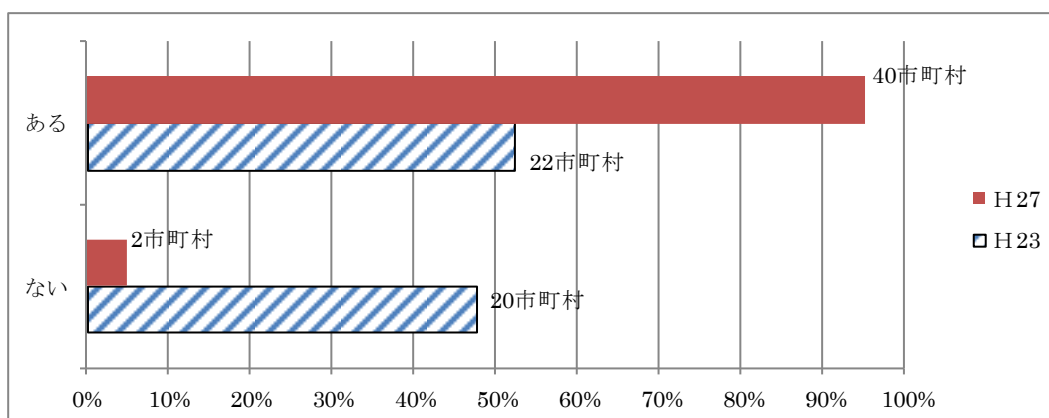
平成27年度「地域づくり型生涯学習」に関する市町村調査 ≪ 取りまとめ結果 ≫（平成27年11月 地域コミュニティ室実施）

1. 目的 前指針の下で行われた平成23年度市町村調査と比較し、平成27年度の市町村における「地域づくり型生涯学習」の推進状況を把握する。
2. 対象 県内42市町村（回答率 100%）
3. 時期 平成27年10月30日～平成27年11月20日

※コメントの【参考】は、最も回答数が多かったものや、市町村における独自の取組について、具体的に把握するため、市町村に別途聞き取りを行い、付記したものである。

A 生涯学習の推進体制の整備について

1 生涯学習振興計画等の有無（教育全般に関する基本計画・振興計画等を含む）



※H23年度調査では、生涯学習計画等に教育全般に関する基本計画・振興計画等を含めていない。

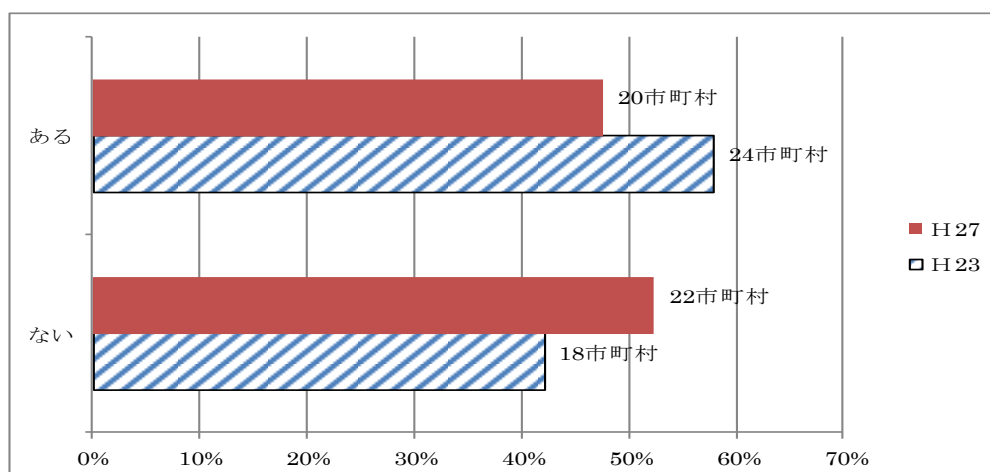
- ・生涯学習計画等に教育全般に関する基本計画・振興計画等を含めると、大半の市町村において、計画が策定されている。

◇生涯学習振興計画等の名称

圏域	市町村名	振興計画等の名称
岐阜	岐阜市	第2次岐阜市生涯学習基本計画
	羽島市	羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画
	各務原市	各務原市総合計画
	山県市	山県市教育振興基本計画
	瑞穂市	瑞穂市教育の全体構想
	本巣市	本巣市教育基本計画（後期）
	岐南町	岐南町第5次総合計画
	笠松町	笠松町生涯学習のまちづくり推進構想
北方町	教育総合5か年計画（第5年次）	

西濃	大垣市	大垣市教育振興基本方針
	海津市	海津市教育振興基本計画
	養老町	養老町第五次総合計画絆プラン
	垂井町	平成27年度垂井町社会教育計画
	関ヶ原町	関ヶ原町まちづくり基本構想
	神戸町	神戸町社会教育計画
	安八町	安八町生涯学習計画
	揖斐川町	揖斐川町第1次総合計画
	大野町	第6次総合計画
	池田町	教育指導の全体構想
中濃	関市	関市生涯学習まちづくり計画
	美濃市	第2次美濃市生涯学習マスタープラン
	郡上市	郡上市総合計画後期基本計画
	美濃加茂市	美濃加茂市・坂祝町生涯学習推進基本計画
	可児市	第4次総合計画 教育基本計画
	坂祝町	美濃加茂市・坂祝町生涯学習推進基本計画
	富加町	平成27年度教育計画
	川辺町	川辺町第5次総合計画
	七宗町	七宗町生涯学習構想
	八百津町	八百津町の教育振興基本計画
	白川町	白川町教育振興基本計画「教育夢プラン」
	御嵩町	21世紀御嵩町教育・夢プラン
東濃	多治見市	第6次総合計画 ※教育・文化に関する基本計画の中に生涯学習推進を含む
	土岐市	土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン
	瑞浪市	生涯学習推進計画
	恵那市	恵那市三学のまち推進計画
	中津川市	中津川市教育振興基本計画 (担当：教育企画課)
飛驒	高山市	第2期高山市教育振興基本計画
	飛驒市	飛驒市教育振興基本計画
	下呂市	下呂市生涯学習の基本方針 (平成27年8月策定)
	白川村	白川村第6次総合計画

2 地域住民や関係団体の代表者などで構成する生涯学習審議会等の組織の有無
(社会教育委員の会は除く)

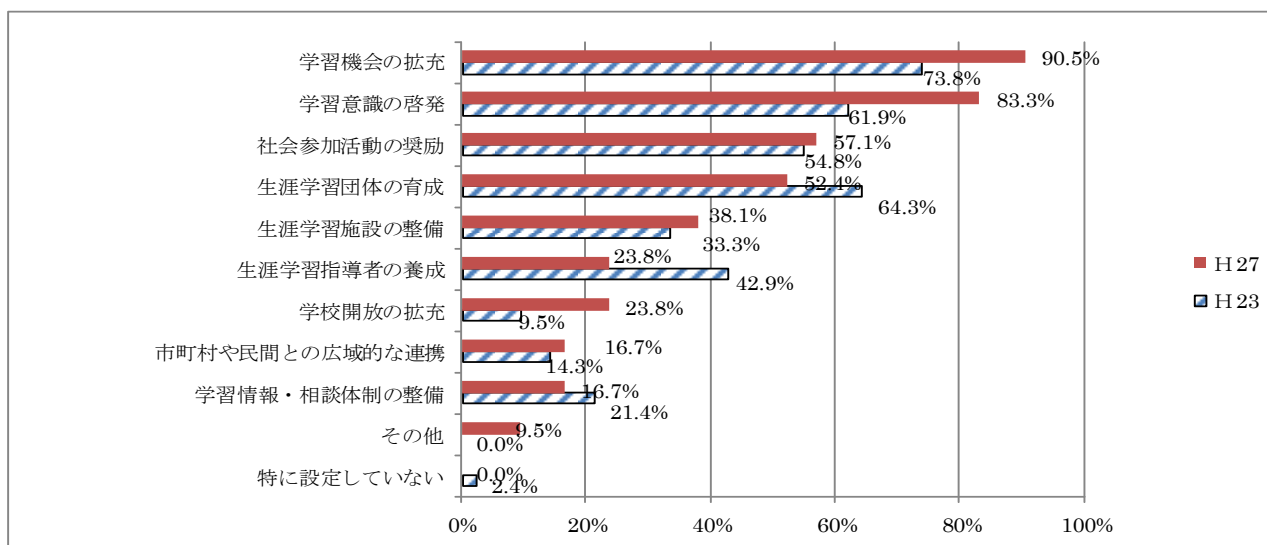


(備考) 地域住民や関係団体の代表者などで構成する生涯学習審議会等の組織の名称

圏域	市町村名	組織の名称
岐阜	岐阜市	岐阜市民生涯学習推進協議会
	羽島市	羽島市生涯学習都市推進会議
	各務原市	各務原市生涯学習推進協議会
	山県市	各中央公民館公民館運営審議会
	本巣市	本巣市民文化ホール運営協議会
	笠松町	公民館運営審議会 兼 生涯学習推進会議
西濃	大垣市	社会教育推進員の会
	養老町	「親孝行と生涯学習を進めるまち養老」町民会議
	神戸町	公民館運営審議会
中濃	美濃加茂市	美濃加茂市生涯学習審議会
	可児市	公民館運営審議会
	白川町	公民館活動運営審議会、各地区公民館活動推進委員会
	御嵩町	御嵩町教育委員会点検評価会議
東濃	多治見市	公民館活性化委員会
	土岐市	土岐市公民館運営審議会委員会
	瑞浪市	生涯学習推進委員会
	恵那市	恵那市市民三学地域委員会
	中津川市	中津川市公民館運営審議会
飛騨	高山市	高山市生涯学習施設運営審議会
	飛騨市	飛騨市生涯学習推進会議

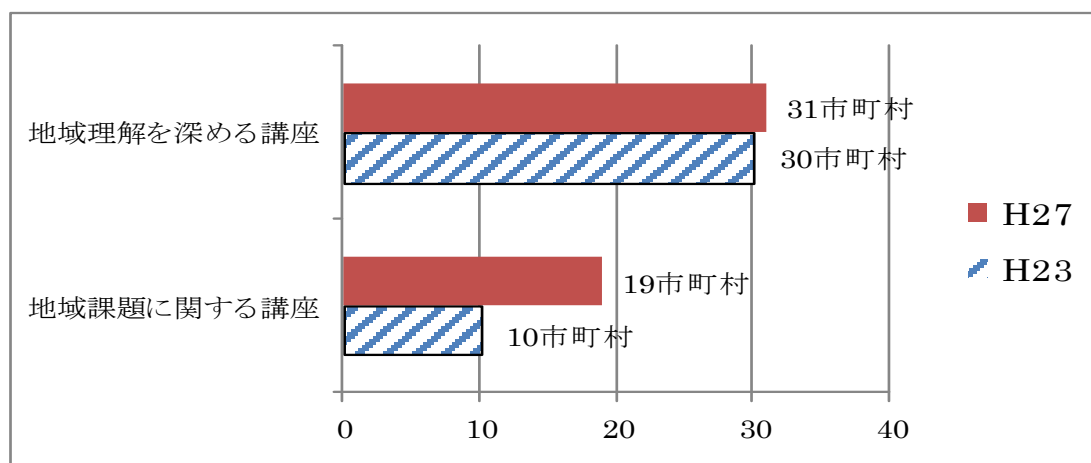
B 生涯学習の推進について

3 生涯学習を推進する上での重点（複数回答）



- ・平成23年度と比較すると、生涯学習推進上の重点として、「学習機会の拡充」（質・量）、「学習意識の啓発」（相談業務・広報）が増えている。
- ・住民の学習ニーズに応える講座を企画し、より多くの住民に講座に参加してもらうことで、住民主体のまちづくり、地域の絆づくりを推進していきたいという市町村の考えが読み取れる。

4 「地域理解を深める講座（ふるさと講座や地域学講座）」や「地域課題に関する講座（高齢化、少子化、環境など）」の開催状況（市町村数）



○「地域理解を深める講座」は31市町村で延べ62講座

<講座例>

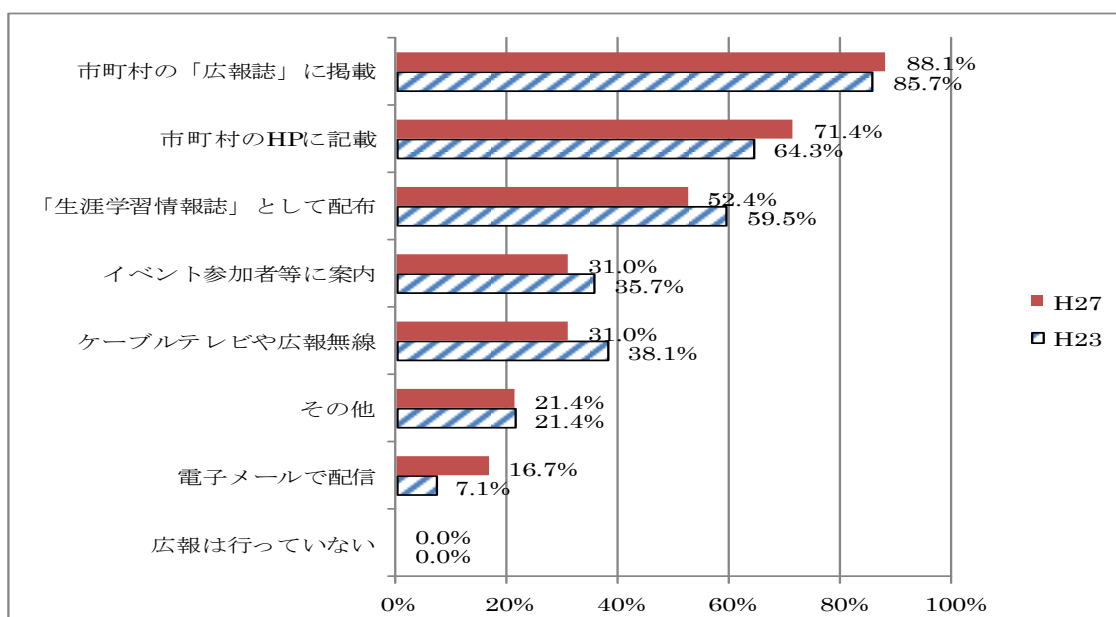
おむすび博、ふるさと楽校、ふれあいウォーキング、歴史講座、可児郡八十八ヶ所めぐり、先人学習講座、食力（しょくぢから）料理教室、飛騨の食卓学、子ども歌舞伎教室

○「地域課題に関する講座」は19市町村で延べ43講座

<講座例>

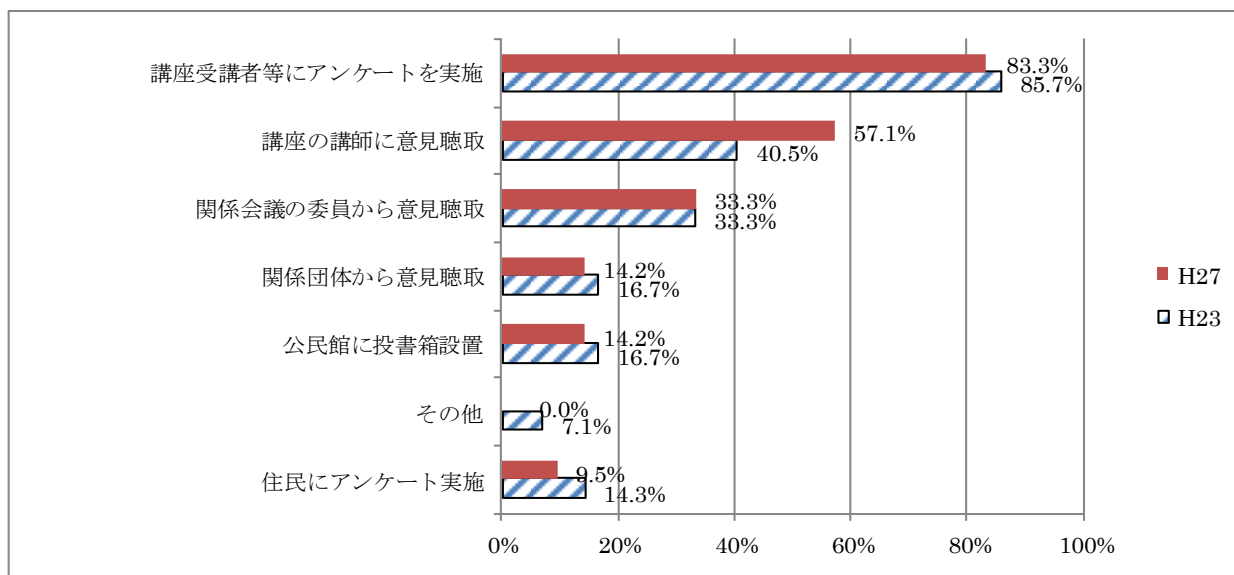
生涯学習によるまちづくり人材養成講座、小学校区別地域づくり、子育てイライラ解消法、子育てサポーター養成講座、防災リーダー養成講座、女性のための生涯学習推進事業

5 生涯学習の講座やイベントの広報手段（複数回答）



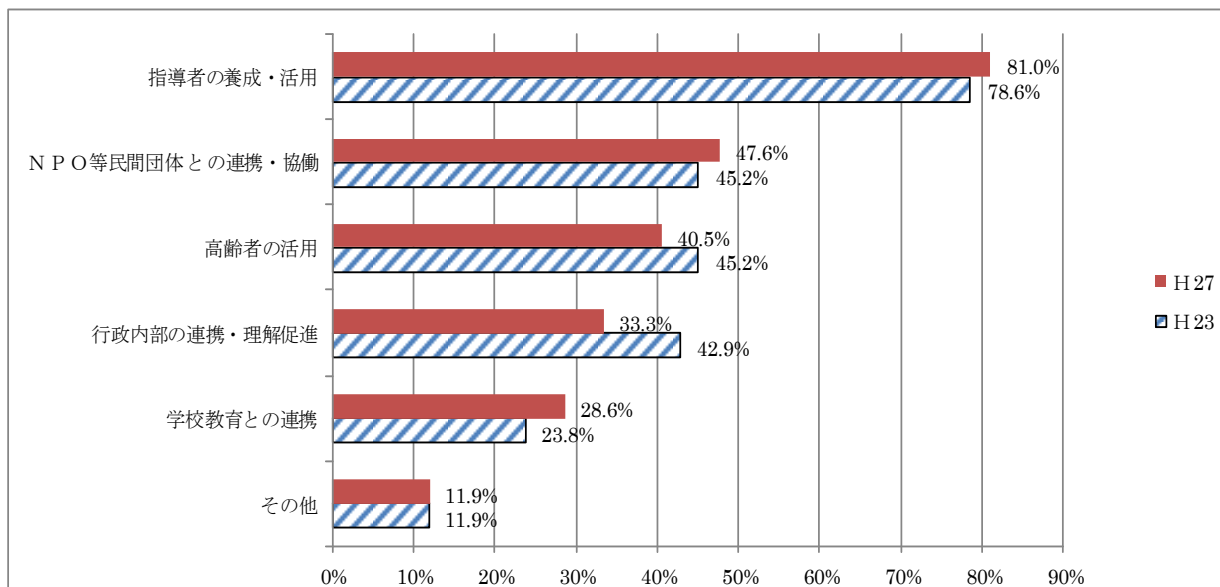
・主な広報手段は、「市町村の広報誌」への掲載である。H23年度と比べ、電子メールでの配信が増えている。

6 生涯学習関連事業を進めるうえでの住民ニーズの把握方法（複数回答）



- 住民ニーズの把握は、講座受講者へのアンケートや講座の講師からの意見聴取が主な手段である。より多くの住民に講座に参加してもらうため、市町村は住民ニーズの把握に努めている。

7 生涯学習推進上の課題（複数回答）



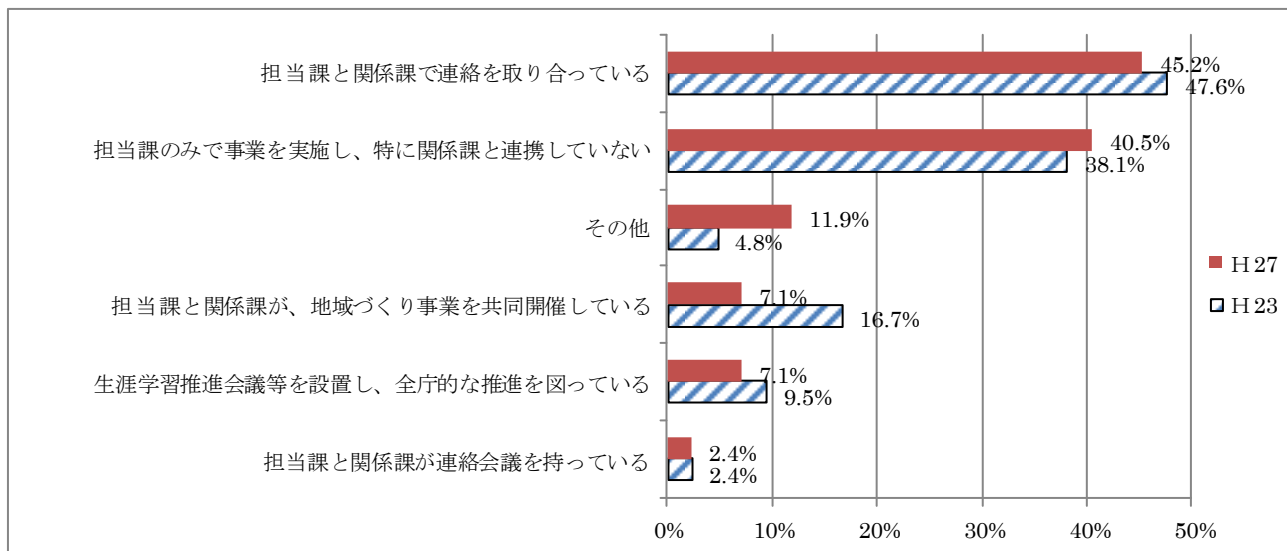
- 生涯学習推進上の大きな課題は指導者の養成である。

【参考】

- 現在活躍している指導者以外に、潜在的な指導者を発掘していくのが難しい等の理由から、指導者の養成・活用が課題に挙がっている。

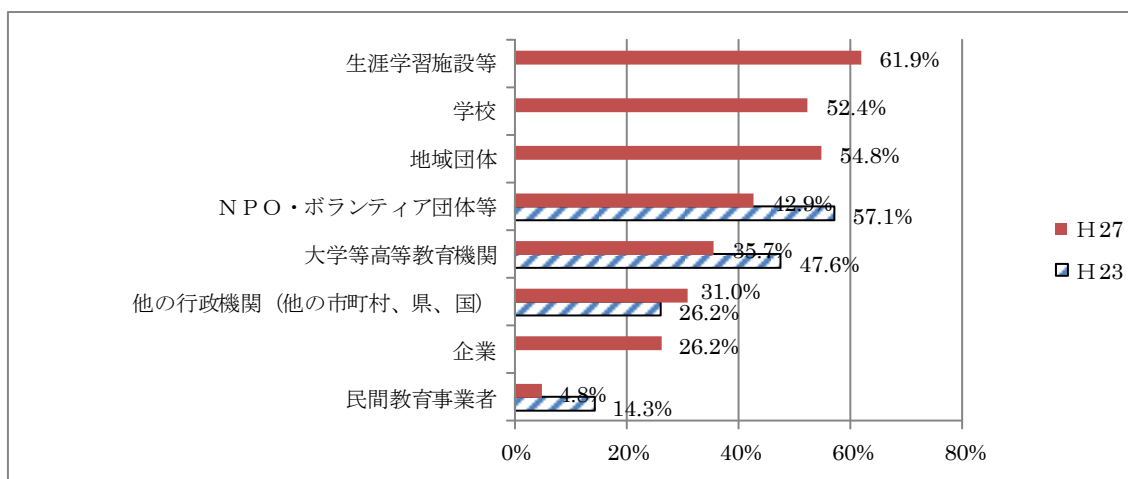
C 「地域づくり型生涯学習」の推進について

8 庁内担当課（生涯学習担当課と他の生涯学習関係課（まちづくり担当課等））との連携状況（複数回答）



- その他の状況として、「各課に生涯学習推進主任を置いている」、「生涯学習担当課とまちづくり担当課を統合している」、「生涯学習推進会議の委員に各部署の職員が入り横の連携を築いている」等がある。

9 生涯学習担当課と生涯学習関係機関・団体との連携（複数回答）



※H23年度は選択肢に生涯学習施設等、学校、地域団体、企業を連携先として挙げていないためグラフにデータは反映されていない。

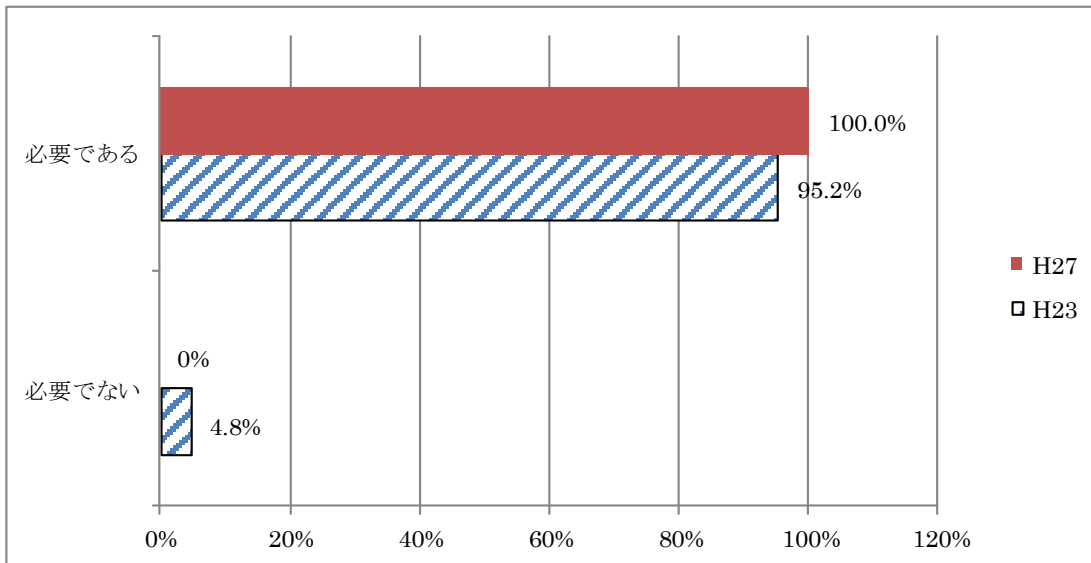
- 生涯学習施設等、学校、地域団体を中心に連携が図られている。

(備考) 生涯学習担当課と生涯学習関係機関・団体との連携との連携内容

※連携内容を分類しているが、調査の回答は自由記述であるため、() 内の回答数は概数である。

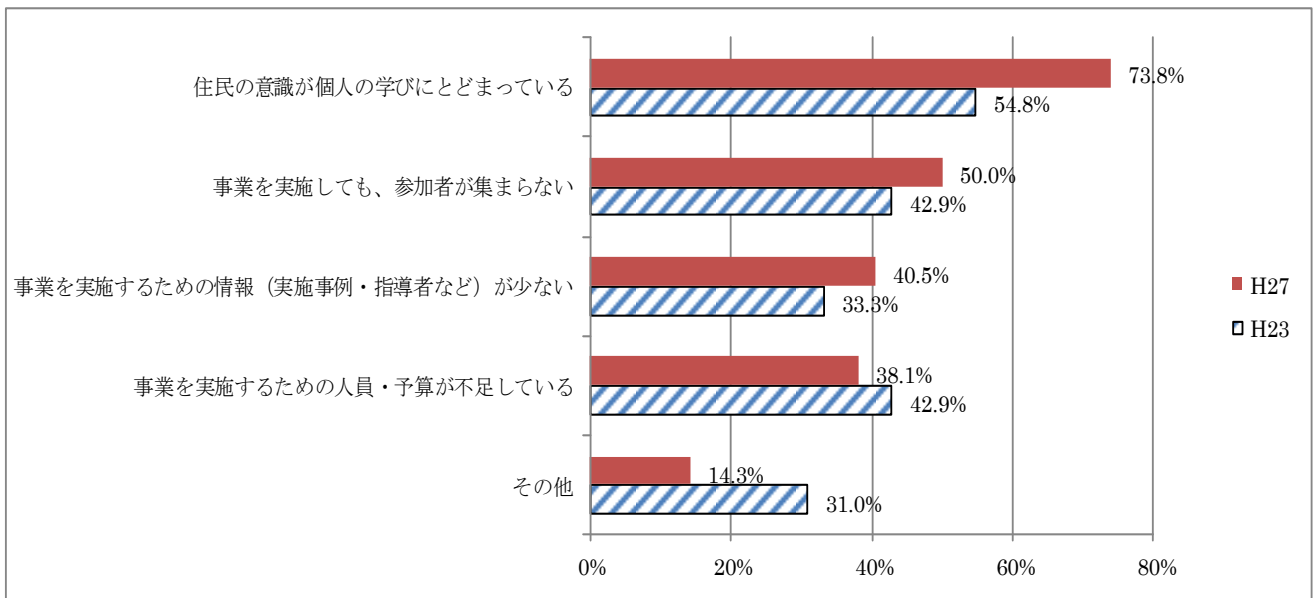
	広報の協力	講師の派遣 ・ 招聘 <small>しょうへい</small>	講座の指導	講座の実施	その他の連携内容・ 【講座例】
①地域団体 (自治会・女性の会・ 子ども会・老人クラブ など)	○ (4)	○ (3)		○ (10)	・生涯学習推進会議の設置 ・活動資金の補助 ・職員による自治会サポーターと自治会の意見交換
②NPO・ ボランティア団体 等		○ (2)		○ (14)	・学校行事の支援、環境整備等 ・放課後子ども教室の運営 【講座例】中高生のボランティア養成講座(中高生を対象もの含)、環境ボランティア団体による閑居学習会、災害ボランティアによる防災の講座
③民間教育事業者 (カルチャーセンター など)				○ (1)	・施設の指定管理を通じた施設利用の活性化 ・スポーツを推進するイベントの企画 【講座例】SNSの利用
④企業				○ (5)	・職場体験(小学生) ・商工会議所とCSRの学習会の実施 【講座例】ワークライフバランス・生前整理
⑤学校 (幼稚園、小・中学校 、高校、特別支援学校 など)	○ (3)	○ (3)		○ (9)	・中学生・高校生ボランティアの参加(祭りや運動会における企画・運営・司会) ・地域住民による学校支援ボランティア活動の推進 ・教室の開放(生涯学習やコミュニティスクールの場合) ・学習サポート事業(対象:小学生)
⑥大学等高等教育 機関		○ (1)	○ (1)	○ (8)	・大学生による学習支援 【講座例】スポーツ、薬学、文化と言語の講座、食育、シニア世代のための地域デビュー講座、レクリエーションや工作(大学生が講師)
⑦生涯学習施設等 (公民館、コミュニテ ィセンター、図書館 など)	○ (3)	○ (1)		○ (11)	・祭りや運動会への協力 ・各公民館との連絡調整会議の実施および情報の共有 ・地域づくり活動の学習の場、情報発信、情報交換の場として連携。
⑧他の行政機関 (他の市町村、県、 国)	○ (3)			○ (6)	・情報交換(講師情報) ・イベントの共催 【講座例】防災教室(県警と連携)、気象変化の講座(岐阜地方気象台と連携)

10 「地域づくり型生涯学習」の推進を意識した取組の必要性



- 今年度、全市町村において、「地域づくり型生涯学習」の推進が必要であるとの回答で一致した。
- 「必要である」理由の回答から、「地域づくり型生涯学習」は、地域とのつながりが薄くなっている社会において、住民主体の地域づくりが必要であり、そのリーダーとなる人材を育成することにつながるということが読み取れる。

11 「地域づくり型生涯学習」を進める上での問題点や課題（複数回答）



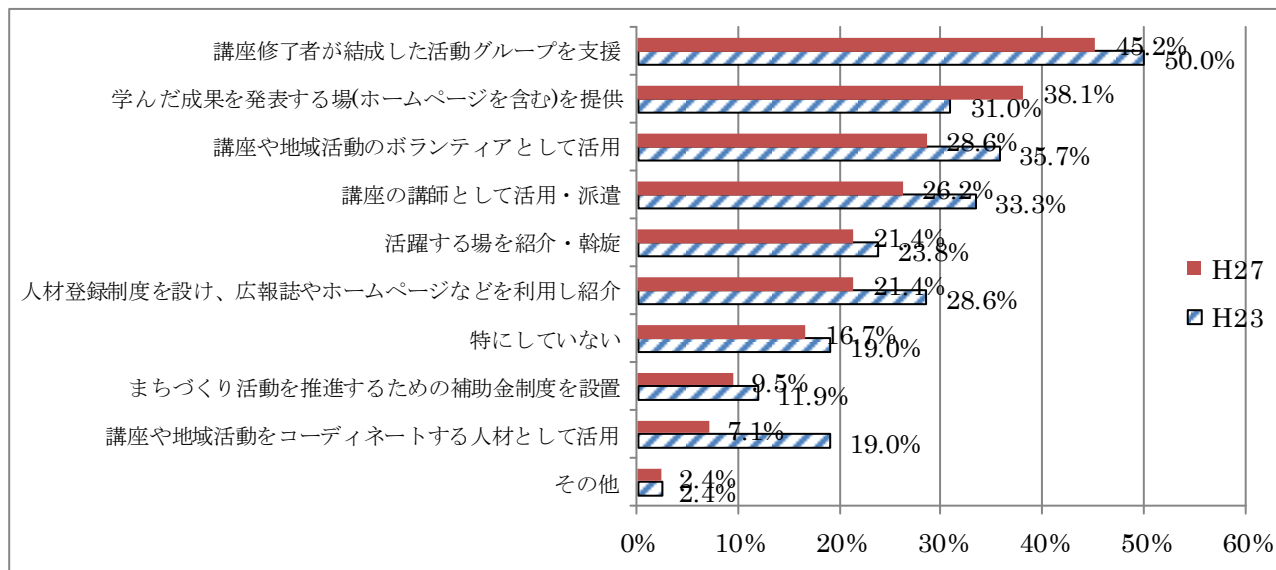
- 「住民の意識が個人の学びにとどまっている」という課題が、H23年度と比較し大きく増えている。

【参考】

- 「住民の意識が個人の学びにとどまっている」ことについて、どのように個人の学びを地域に生かしているか実態の把握が難しい、という回答があった。

D 人材の育成・活用について

1 2 生涯学習講座の修了者に対する取組（フォローアップ）（複数回答）

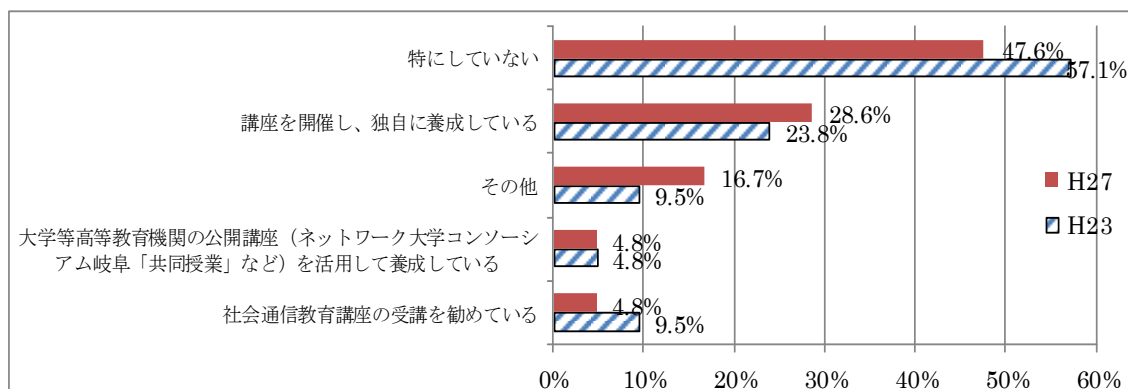


- 学んだ成果を発表する場（ホームページを含む）の提供が増えており、住民の関心を高めたいという市町村の考えが読み取れる。

【参考】

- 「講座修了者が結成した活動グループを支援」の内容としては、活動場所の使用料の減免等がある。
- 支援する理由として、仲間で講座の学びを深め、生きがいに繋げてほしいという回答がある。

1 3 生涯学習を推進する人材の養成について（複数回答）



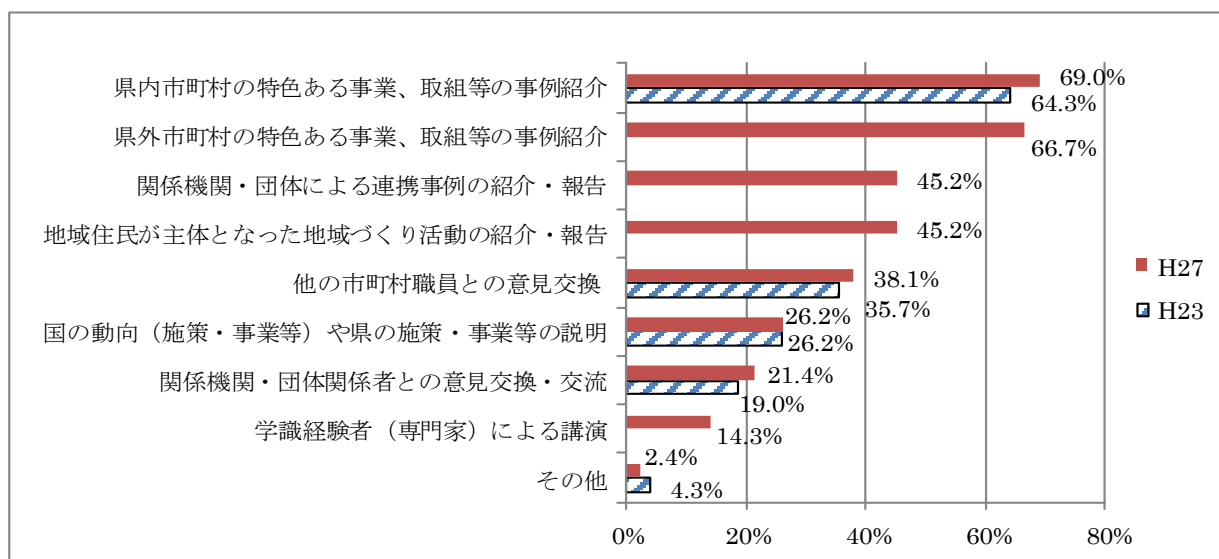
- 人材養成を特にしていない市町村は、平成23年度と比較し減少したが、約半数において未実施であり、生涯学習推進上の課題となっている。
- その他の取組として、「意欲のある受講者への講座の情報提供」、「受講費の補助」がある。

【参考】

- 独自に人材養成している市町村の取組として、市民が講師となり行う講座や生涯学習コーディネーター養成講座の実施がある。
- 市民が講師となり行う講座は、個人の学びを地域に生かす仕組みであり、講師となる際に事前研修（話し方や講座企画のスキルを身に付ける）を受講する。

E 「地域づくり型生涯学習」生涯学習総合推進会議について

1 4 総合推進会議で望むこと（複数回答）

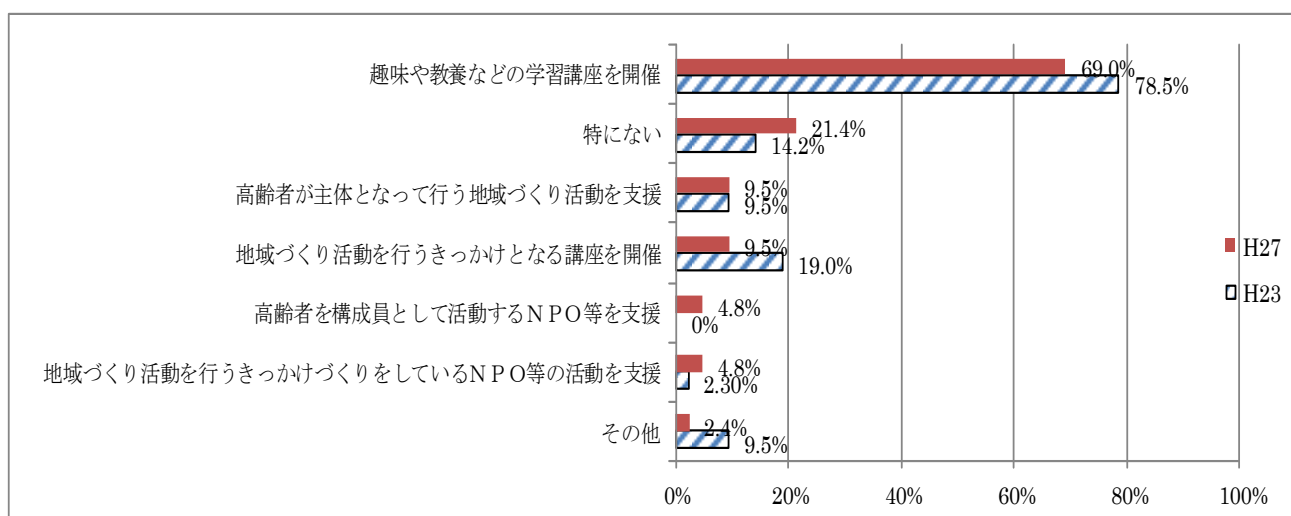


※H23 年度は選択肢に「県外市町村の特色ある事業、取り組みの事例紹介」「関係機関・団体による連携事例の紹介・報告」「地域住民が主体となった地域づくり活動の紹介・報告」「学識経験者（専門家）による講演」を挙げていないため、グラフにデータは反映されていない。

- ・総合推進会議では、「県内・県外市町村の特色ある事業、取組等の事例紹介」の実施が望まれている。

F 高齢者を対象とした取組みについて

1 5 高齢者を対象とした取組み（複数回答）



高齢者を対象とした講座及び活動支援の事例に関する回答には以下がある。

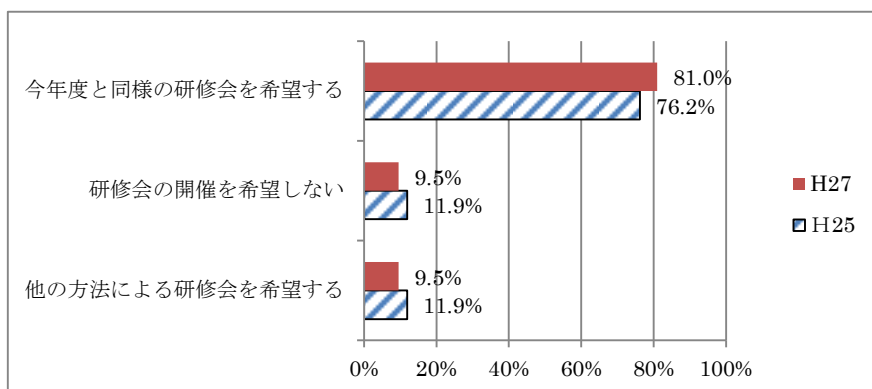
- ・講座例・・・交通安全教室や認知症予防のための体操
- ・活動支援例・・・託児施設の行事参加、通学時の子供の見守り

G 現行指針に基づいた各種事業について

※平成25年度との比較

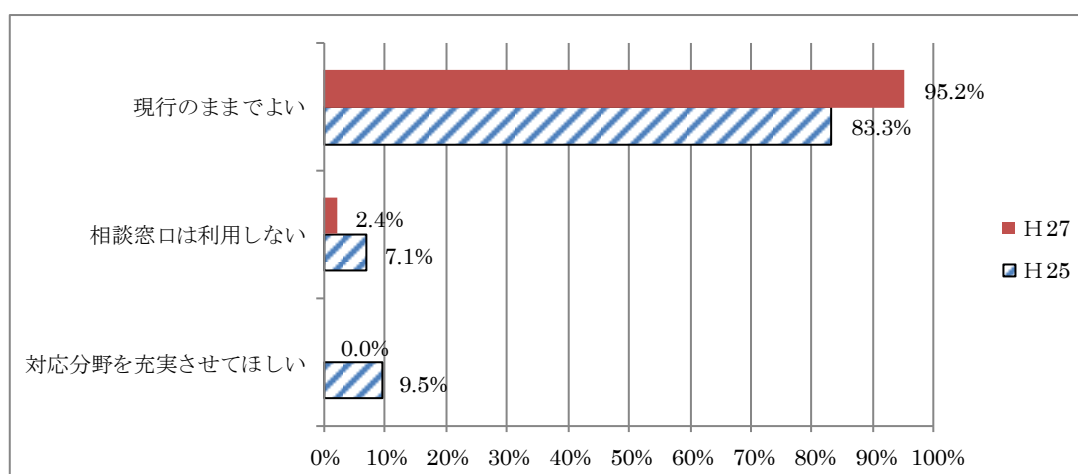
16

(1) 「市町村職員対象生涯学習研修会」に対する希望



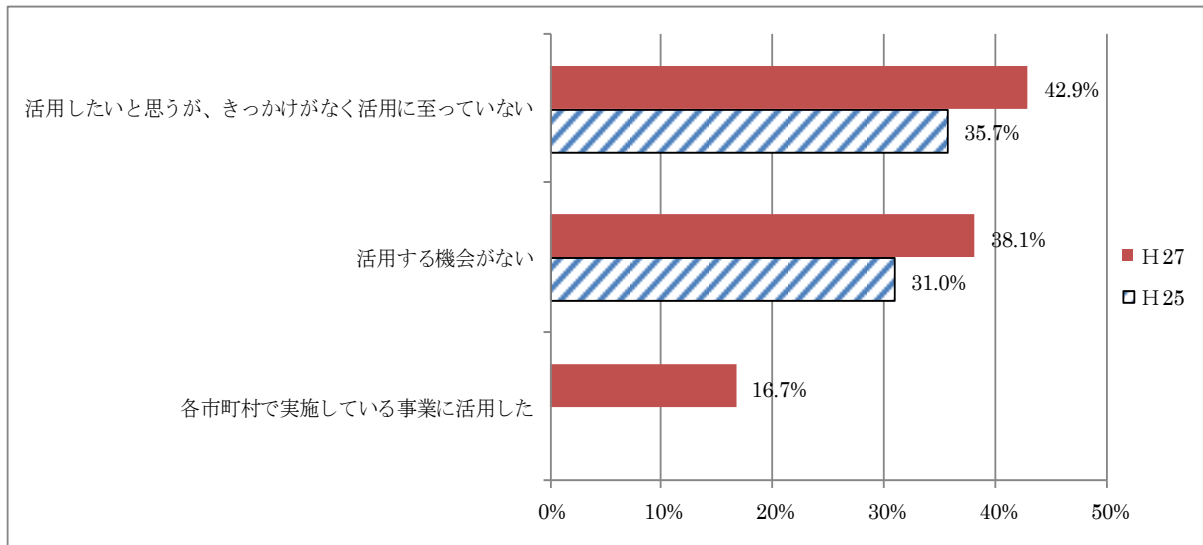
- 今年度の研修会はおおむね満足を得ている。
- 他の方法としては、県内の生涯学習推進上の課題について研究する機会を希望する意見があった。

(2) 「市町村向け生涯学習相談窓口」に対する希望



- 「市町村向け生涯学習相談窓口」についてもおおむね満足を得ている。

(3) 「ぎふ学生ボランティア・地域活動ネットワーク構築事業」について



※H25 年度は選択肢に、「各市町村で実施している事業に学生ボランティアを活用した」を挙げていないため、グラフにデータは反映されていない。

- 学生ボランティアを活用したいが、機会がないという回答が多い。

H その他

17 現在の「岐阜県生涯学習振興指針～「地域づくり型生涯学習」による地域の「絆」とコミュニティの再構築～」全般に対する意見

- 学習活動を通して地域づくりに寄与し、学びの連鎖で人と人との絆を深め、コミュニティ内の再構築を図ることは今後も必要になってくると思う。
- 県の生涯学習振興指針はとても理想的な内容であり、このようなビジョンに近づけていくことが大切なのだとよく分かる。実際には、費用や人材育成のノウハウ、活用機会の提供など課題もある。しかし、地域づくり型生涯学習の必要性はよく分かるので、県や先進地域からの情報を活かし推進していきたい。
- これからの社会情勢を考える時、「地域づくり型生涯学習」は非常に重要だと考える。その中で、協働や連携、コーディネートが不可欠となってくるが、行政を中心に縦割りや分野別事業が多いのが現状であり、それをどのように打破していくかが鍵である。
- 講座やイベントが開催されるが、女性の参加、活動が目立ち、退職後の男性が活躍できる、参加できる場が必要と考えている。他市町村から転入されてきた方が地域になじみ、相談相手をつくることのできるような地域の「絆」づくりができる取組が必要だと感じている。
- 当方では人員不足の中、「人とのつながり」を意識した出来る限りの事業展開を行っている。この事業により、小さいコミュニティなりに細やかな対応により、絆やコミュニティの再構築等にもつながっていくことと思うが、小さいからこそ起こる弊害も多いように感じている。

18 生涯学習全般に対する意見・要望

- 生涯学習は、あらゆる分野にかかわるものであるため、担当課のみでなく、行政内の横の連携を図りながら、その推進にあたりたいと考える。
- 生涯学習担当課とその他の部署が協力している市町村の事例があれば知りたい。
- 生涯学習を推進する指導的人材の不足が課題である。
- どう男性を呼び込むか、ここが推進の鍵だと思っている。
- 公民館が、生涯学習として興味のあることを学ぶだけではなく、社会の中で学ぶべきことを学ぶ拠点となり、またその学びを地域へつなげていく拠点になるように事業を進めていきたいと考えている。（社会教育関係団体等、公民館使用者の方への意識づけ等）
- 当方では生涯学習を進める中で、学んだことを生かす分野が一番手薄になっている。生涯学習をまちづくりにつなげていくよう環境整備等を行っているが、今後も他市や関係団体との情報交換を行いながら推進していきたいと考えている。